

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年3月15日

団体名 イリゼ代表者 西本 梓構成員 5人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

LGBTQ 当事者の実情に配慮しつつ、企業の LGBTQ 施策への関心を高め、取組みを推進することを通じて、多様な労働者の雇用の安定及び職業生活の充実を図るとともに、企業並びに社会の発展に寄与すること。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
4月26日	西部交流センター	参加者	5名	(居場所の提供) KITEMIRIN
6月28日	西部交流センター	参加者	2名	(居場所の提供) KITEMIRIN
10月12日	西部交流センター	参加者	3名	(居場所の提供) KITEMIRIN
12月21日	NPO 法人コネクト スポット	参加者	約15名	(上映会) 岡崎ソーシャルシネマ NPO 法人コネクトスポット様と共催

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

居場所「KITEMIRIN」では、LGBTQ 当事者やそうかもしれない人の中で申込があった方を対象に安心して話せる場を提供。8割以上が市内在住であり、日常の困りごとや、性的指向・性自認(SOGI)を取り巻く状況等について共有した。年に1度、普及・啓発イベントを設定しており、今年度は市内の法人に協力をいただき、欧米での同性婚訴訟におけるドキュメンタリー映画「ジェンダー・マリアージュ」を上映し、その後意見交換を行った。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

性的指向・性自認(SOGI)に関する課題は人権課題として認識されている。本団体では、当事者等が安心して交流できる居場所の提供や上映会の開催を通じ、市民の理解促進と当事者の孤立防止に取り組んだ。対象は限定的ではあるが、地域社会における多様性理解の促進に寄与する活動であると考え、この評価とした。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。